

令和6年度(7年産)ビール大麦等成熟期予測①

農業総合研究センター研究開発部麦類研究室

予測日：令和7(2025)年4月24日

○気象庁季節予報によると、向こう1か月の平均気温は平年より高くなる可能性があり、成熟期が早まると予測される。収穫適期を逃さないよう、早くから収穫準備を進める。

1. 有効積算気温によるニューサチホゴールドの成熟期予測

本年産の農研センター本場（宇都宮市）におけるニューサチホゴールドの成熟期（4月24日現在、令和6年11月8日播種）は、今後気温が平年並に推移した場合は平年-3日の5月25日（平年値5月28日）と予測される。

場所	出穂期	成熟期予測				成熟期
	本年	平年+2℃	平年+1℃	平年並	平年-1℃	平年値
農研センター	4/14	5/19	5/22	5/25	5/28	5/28

平年+1℃の場合は5月22日（平年-6日）、平年+2℃の場合は5月19日（平年-9日）、平年-1℃の場合は5月28日（平年±0日）である。

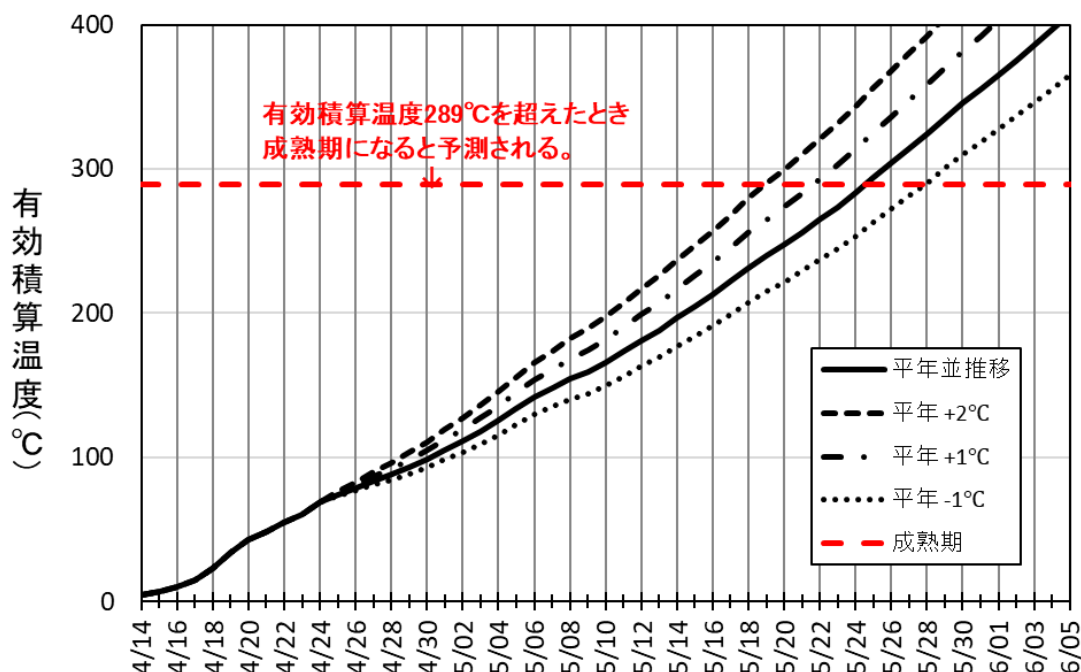


図 ニューサチホゴールドの成熟期予測（農研センター本場）

※有効積算温度＝ $\sum$ （日平均気温－有効下限温度（4.6℃））

※日平均気温は気象庁宇都宮アメダスの観測データを使用した。

※有効積算温度及び有効下限温度は、ニューサチホゴールドにおける茎立期から出穂期までの積算温度で算出した。

2. ニューサチホゴールデンの出穂期

本年産の農研センター本場（宇都宮市）におけるニューサチホゴールデン（令和6年11月8日播種）の**出穂期は4月14日**（平年4月18日）であった。

出穂期		
本年	平年	差
4/14	4/18	-4

※平年値：平成25年～令和4年度（10年間）の平均値。

※令和5年度は参考値（播種が平年より10日遅れたため、平年値から除く）。

3. 今後の気象動向（気象庁季節予報令和7年4月24日発表より引用）

●天候：期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。

- ・気温：**高い**確率が60%
- ・降水量：**平年並または少ない**確率ともに40%
- ・日照時間：**多い**確率が40%

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 04/26～05/25	10 30 60
		1週目 04/26～05/02	20 40 40
		2週目 05/03～05/09	10 20 70
		3～4週目 05/10～05/23	20 40 40
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 04/26～05/25	40 40 20
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 04/26～05/25	30 30 40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)



※栃木県農業総合研究センターは設立130周年を迎えました